

全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会における厚生労働大臣祝辞

令和6年10月27日（日）
ハイブリッド開催

本日、一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第62回全国大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

昭和38年の御会発足以来、長きにわたり、日々の活動を支え、また、本大会を継続して開催してこられた関係者の皆様方に対し、心より御礼申し上げます。また、心臓病を抱える子どもたちとその御家族に寄り添い、支え、不安や悩みを共にする活動を続けられていることに、改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

厚生労働省では、心臓病を含む小児慢性特定疾病や指定難病の医療費助成について、平成27年の法制度化以降、対象疾病を順次拡大して支援を行うとともに、心臓病などを抱える子どもたちの自立促進を図るための取組などを進めてまいりました。

また、昨年10月からは、小児慢性特定疾病児童等や難病患者に係る医療費助成の支給開始日を前倒しし、さらに、今年4月からは、小児慢性特定疾病医療費助成における成長ホルモン治療基準を撤廃するなど、医療費助成を円滑に受けられるような取組を進めています。

このような中、本日、「心臓病だけど働きたい！」をテーマに、心臓病を抱える方やその御家族、有識者など関係者の方々が、仕事と治療を両立できる仕組みづくりに向けた意見交換を行うことは、大変意義深いものであります。

厚生労働省としても、小児慢性特定疾病児童等に対する自立支援事業について昨年10月からは努力義務化して推進しており、各地方公共団体において、地域の実情の把握・課題の分析等を行った上で、小児慢性特定疾病児童等の就労支援や相互交流支援等を行っていただくよう求めています。

これらの取組を通じて、心臓病を抱える方や御家族の明るい未来に貢献できるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本大会の開催を通じて、会員の皆様の絆が一層深められることを期待するとともに、本日御参会の皆様方の御多幸を心よりお祈り申し上げ、私からの挨拶といたします。

令和6年10月27日

厚生労働大臣 福岡 資麿

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会
祝辞

本日、「一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会」が開催されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会は昭和38年に創立されて以来、心臓病の子どもたちを取り巻く環境の充実に向け、交流会や勉強会、要望活動等に取り組んでおられますことに敬意を表するとともに、本全国大会の開催に当たり御尽力された関係の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

今大会は、「心臓病だけど働きたい！～企業と産業医とわたしのホンネ～」をテーマとして、心臓病の方々が仕事と治療を両立できる仕組みづくりについて、講演や意見交換が行われるとお聞きしております。

病気療養中の児童生徒や障害のある児童生徒の自立と社会参加を見据え、文部科学省におきましては、児童生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、キャリア教育の推進を図っております。

また、病気療養中の児童生徒に対する遠隔教育の充実に図るほか、教師の専門性の向上、ICTの利活用、医療・福祉等との連携強化による切れ目ない支援体制の整備など、各種施策の充実に取り組んでおります。

文部科学省としましては、関係省庁とも連携し、心臓病の子どもたちへの教育の一層の振興を図るとともに、共生社会の実現を目指して参りますので、本日御参会の皆様におかれましても、引き続きの御尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会の更なる御発展と、本日御参会の皆様のますますの御健勝、御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和6年10月27日
文部科学大臣 あべ 俊子

メッセージ

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会 第 62 回全国大会の開催、誠におめでとうございます。

大澤会長をはじめ、ご参会の皆様、またオンラインでご参加の皆様の日頃からのご尽力に深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

本日の大会は、事前に実施された生活実態アンケート調査の結果を踏まえ、仕事と健康 両立の秘訣をテーマに開催されるものと伺っており、極めて意義深き会合であると考えます。先天性心疾患を抱えられた皆様方が、生き甲斐、やり甲斐を持って働き続けられる環境の構築は、まさに「大衆福祉」を党是とする私ども公明党に課せられた責任でもあります。

公明党は、誰もが希望に応じて社会参画し活躍できる社会の構築をめざし、現場の声（ホンネ）に寄り添いながら、一人を大切に作る政治をモットーに、全世代型社会保障の拡充、難病支援に取り組んでまいりました。

「希望の未来は、実現できる」——そう誰もが思える日本へ、ウェルビーイングの向上に向け、これからも「堅実」な力を発揮し、力の限り働いてまいります。

末筆ながら、本大会のご盛会と貴会の今後ますますのご発展、会員の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念いたしますとともに、公明党に対しまして、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2024 年 10 月 27 日

公明党代表 石井啓一

第 62 回全国心臓病の子どもを守る会全国大会へのメッセージ

第 62 回全国心臓病の子どもを守る会全国大会の開催おめでとうございます。

心臓病児者とその家族が、1 人で悩み・抱え込まなくてもいいように、みなさんで力をあわせて支え合い、励まし合いながら、心臓病であっても物質的・精神的に充実した日々を送り豊かな生活がおくれるよう、医療制度など社会保障の改善・拡充のための活動をねばり強く続けておられることに敬意を表します。

大会のテーマは「心臓病だけど働きたい！」です。働くことは生活の糧を得るためだけでなく、社会参加や自己実現のためにも重要です。だからこそ、憲法 27 条は国民に勤労を権利として保障しているのです。

残念ながら病気や障害を抱えて就職し、仕事を続けることは大変困難なのが実態です。その背景には、長時間過密労働を容認する労働法制の下で、日本の労働者は世界で最も長く働いており、それにあわせられない人は働きにくい社会になっていることがあります。また、職場の合理的配慮を支える社会保障の仕組みが非常に脆弱だということも指摘せざるを得ません。障害者雇用を広げ、障害年金の拡充などの社会保障を充実させ、労働法制を抜本的に強化し、だれしも人間らしく働ける社会を作っていかなくてなりません。私たちもみなさんと力をあわせて、そのために全力をあげる決意です。

大会の成功とみなさんの健康、今後の活躍を祈念してメッセージいたします。

日本共産党幹部会委員長 田村智子

一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会の皆様

第62回全国大会が開催されますこと 誠におめでとうございます

テーマ「心臓病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンね」に基づき 多くの方々が集い 貴重な情報や経験を共有されることを心から期待しております

心臓病を抱えながらも 仕事と健康を両立させることは決して容易ではありません しかし 企業や産業医の協力 そして個々の努力によって その実現は可能です 本大会を通じて 心臓病の子どもたちが将来に希望を持ち 自分らしく働ける社会の実現に向けた一歩となることを願っております

また、心臓病の子どもたちが笑顔で暮らせる社会を実現するためには 医療関係者や教育関係者 行政機関などと連携して取り組む必要があります 私も子どもたちやそのご家族の声をしっかりと聞き 子どもたちの未来につながる社会保障制度の充実を目指して力を尽くします

心臓病の子どもたちやそのご家族の皆さまが これからも自分らしく過ごしていけるよう 本会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和6年10月27日

参議院議員 看護師 弁護士

友納 りお

参議院議員

友納 りお

ともものうりお

保健師

看護師

弁護士

〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院会館1116号室

Tel:03(6550)1116 Fax:03(6551)1116



「全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

生まれたときに心臓に何らかの異常がある方はおよそ100人に1人といわれていますが、症状が出なければ普通の人と見た目は変わりません。しかし、心臓病を持つお子さんは他の子どもと同じように遊ぶことができないことなど、様々な心の痛みを感じながら生活しています。

疾患や障害の有無にかかわらず、すべての人が当たり前のことを当たり前前にできる社会を構築していかなければなりません。

疾患を抱える患者・家族が何かを諦めなくてもいい環境をいかにして整えていくか医師として参議院議員として、しっかり考え取り組んで参りたいと思っています。

また貴会を通じ、そういった子ども達の心のケアが必要であることや、大人になってからも様々なサポートが必要であることを沢山の方々に知って頂き、患者や家族の皆様が抱える問題が解決に向かうことを願っております。

結びとなりますが、貴会の益々のご発展と本日お集まりの皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、励ましのメッセージとさせていただきます。

令和6年10月15日

参議院議員 **羽生田 俊**

祝

全国心臓病の子どもを守る会の第 62 回全国大会のご開催、誠におめでとうございます。

「心臓病だけど働きたい！」という皆さんの声がしっかり反映される環境が整うよう、一步ずつ国でできることを私も国会の中から進めて参ります。

これからの日本では、それぞれの方の体調や事情や個性に合わせて、多様な働き方ができる社会になっていくことが必要だと思います。皆さんのお声を、これからもお聞かせください。

本日のご盛会を心より祈念申し上げます。



2024 年 10 月 27 日

立憲民主党

参議院議員

高木真理

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第62回全国大会にご参集の皆様、長きに渡り、心臓病の子ども達とご家族の命・暮らしを守るため、活動が続けておられることに心から敬意と感謝を表します。

参议院議員で看護師の石田昌宏です。

心疾患の病態は様々です。子どもの将来を思い、不安に苛まれる日もありだったと拝察いたします。そのような時こそ悩みを共有できる仲間、企業の理解や産業医のサポート、そして社会全体の協力が必要です。

この大会を通じて、皆さまの知恵や経験が共有され、心臓に病を持っても安心して暮らしていける社会に向けて、新しい気づきや解決策が生まれることをご期待申し上げるとともに、私も国政の場において尽力いたしますこととお誓い申し上げます。

貴会益々のご活躍ならびにご参集の皆様のご健勝を心より祈念致します。

令和6年10月27日

参议院議員、看護師

石田昌宏



全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会メッセージ

第62回全国大会の開催、おめでとうございます。

つながり、支えあいながら、安心して医療を受け、より良い生活が送れるように社会保障制度の拡充のため活動が続けてこられた皆様に心から敬意を表します。

難病法・改正児童福祉法が施行されもうすぐ10年がたとうとしていますが、多くの課題が残されたままです。

子どもたちが適切な時期に適切な医療が受けられるよう、専門医療機関の整備・充実を図るとともに、通院費用等や入院時の食事、差額ベッド代など保護者負担の軽減のため、支援を強化することが必要です。成人後も医療助成が継続できるようにすべての小児慢性疾病を指定難病すること、学びの保障、福祉サービスの拡充、就労の保障など早急に取り組まなければなりません。

病気があっても地域で尊厳をもって生きることができる社会実現にむけて、力を尽くす決意を表明し、メッセージとさせていただきます。

日本共産党 参議院議員
倉林明子

一般社団法人 全国心臓病の子どもを 守る会の皆さまへ



第 62 回全国大会「心臓病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」の開催、誠におめでとうございます。

私は 14 歳のときの医療ミスが原因で、四肢麻痺、発話障がい、視覚障がい、嚥下障がいを負いました。長い時間をかけて介助体制を整え、福祉サービスを使いながら介助者とともに地域で暮らしています。2022 年 7 月に国会へと送り出していただき、現在、参議院厚生労働委員会に所属しています。

私が懇意にしている美容師の方は、息子さんが心臓病を患っており、仕事の調整をしながら通院の付き添いや看病をされています。遠方への通院に加え、術後も運動制限があるなど常に細かな配慮が必要であり、その負担は計り知れません。このような状況に対しては、地域や自治体でのケアが不可欠ですが、いまだ地域間格差も大きく、十分には行き届いていないのが現状です。

これからの課題は、家族が子どもの看病やサポートをしつつ、自身の仕事を継続でき、さらに子どもが成人期を迎えたあとも公的な支援を受けられるように環境を整えることです。このために私は、これからも厚生労働委員として、地域・社会づくりに尽力してまいります。

本日の全国大会のご成功を心から祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

2024 年 10 月 27 日
れいわ新選組 参議院議員 天畠大輔

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第六二回全国大会に寄せて
謹啓 全国心臓病の子どもを守る会の大会が、「心臓病だけど働きたい！
仕事と健康、両立の秘訣」企業と産業医とわたしのホンネ」の開催おめ
でようございます。

心臓病児者をはじめ、長期的な治療や療養を必要とする皆さんは、一
人の社会人であり、就業を含めて社会参加・社会貢献を希望するのは、
当然のことだと考えます。その実現を阻む要因があるとするれば、本人や
直接の関係者だけでなく、社会全体で解消を目指した取組を進め、その
上で、一人ひとりの状況に即した対応を個別に講じていくことが大切だ
と思います。

大会において、当事者を含めた多くの関係者の実態の開陳、情報共有
や意見交換が活発に行われ、心臓病を抱える多くの人の就業の促進の起
爆剤となることを期待しています。そして、この取組が現在、あるいは
将来の心臓病を抱える子どもとその関係者に大きな希望を与えることに
つながると信じています。

大会のご盛会と関係者皆さんのご健勝を心から祈念しています。

謹白

令和六年十月吉日

参議院議員

厚生労働委員会理事 星 北斗



祝 辞

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第六十二回全国大会のご開催心よりお慶び申し上げます。

医療技術の進歩と共に、貴会を始めとした関係者の努力により、心臓病児者に係る制度は改善が図られてきました。しかし、患者やその家族がよりよい人生を送るには、社会への周知や理解、そして制度の充実が必要です。

私、福島のおゆきは、厚生労働委員会所属の国会議員として、障害認定制度の改善など、政府の政策的な対応を求めてまいります。

最後に、日頃より貴会運営にご尽力下さる関係各位に感謝申し上げますとともに、本日も参会の皆様のご健勝をご祈念致します。

令和六年十月二十七日



衆議院議員
福島 おゆき
仲享

メッセージ

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第 62 回全国大会「臓病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」のご開催、誠におめでとうございます。

およそ 100 人に 1 人いる先天性心疾患の方は、医療の発達により救命ができたとしても、根治することがなく、様々な不安や困難を抱えているお子様やご家族の方が多いと思います。先天性心疾患の方の生活の質を向上させていくためには、ともに学び、遊び、ふれあうことができる場は大変重要であり、「全国心臓病の子どもを守る会」は意義のある活動をされていると感じております。私も心臓病を抱えた子どもたちがより自分らしく生きることができるよう、取り組んでまいります。

本日、ご参集の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

前衆議院議員 遠藤良太



メッセージ

全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会のご盛会を心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より豊かな心臓病のお子さまのよりより自立した生活を目指し活動されております関係者の皆様に深い敬意を表します。

先天性心疾患は根治することなく、成長されましても遺残症や合併症・後遺症を抱え、医療との関りも生涯にわたり継続していかなければならず、日常生活にも困難があります。

心臓病を抱えましても成人期を迎えられた患者が自立した生活や仕事を続けていける環境作り、医療支援が欠かせません。

私、吉田統彦は、こうした心臓病があっても働き続けられる医療支援を充実するために不惜身命取り組むことをお約束するとともに、本日までご参集の皆様のご健勝を祈念いたしまして、メッセージといたします。

吉田統彦

2024年10月吉日

衆議院議員 医師

吉田統彦



一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会 本部事務局 御中

「全国心臓病の子どもを守る会 第 62 回全国大会」へのメッセージ

「全国心臓病の子どもを守る会 第 62 回大会」、開催めどうございます。

子ども期から青年期、壮年期を迎えられた心臓病患者さんご家族を支え、よりどころとなってきた貴会の活動に心から連帯するとともに、敬意を表します。

自公政権は国の社会保障費を削減するため、医療・介護・障害福祉などの制度改悪を強行してきました。公的責任をどんどん狭め、物価高騰に見合わない報酬の抑制で、医者、看護師、介護・障害福祉労働者など、深刻な人手不足を招いています。社会保障予算を抜本的に増やすことが急務です。

国は「子育て支援」「少子化対策」といいながら、すべての人の医療保険料に「子育て支援金」を上乗せして徴収するという愚策を行おうとしています。子どものいる世帯からも支援金をとり、高所得者ほど負担が軽くなるというものです。子育て支援というのなら、会員の多くみなさんも利用されている、すべての自治体がとりくむ子どもの医療費助成制度のさらなる拡充や教育費負担の軽減などにとりくむべきです。日本共産党は多くの自治体で 18 歳まで医療費助成を広げようと奮闘していますが、さらに自治体の負担から国の制度に変えることを求めています。また、重度障害者医療費助成制度の改悪に歯止めをかけるとともに、育成・更生医療や小児慢性特定疾病の助成制度の拡充も、引き続きとりくんでいきます。

心臓病という疾患を抱える障害者として、「内部障害」をしっかり位置づけて手帳を取得できることや、障害年金や各種手当などが正当に支給されて所得の保障をおこなっていくことも重要です。障害基礎年金額の底上げや障害基礎年金に 3 級を新たに定めることなどの制度改革も切実に求められており、実施すべきです。

雇用の保障では、全国ハローワークで相談体制を厚くすることが必要です。この間、ハローワークの非常勤職員の常勤化を求め、改善もはかってきました。一般雇用や障害者雇用、福祉的就労であれ、合理的配慮がなされるもとで、差別のない、通院しやすく働きやすい職場が当たり前の労働環境をつくれるよう、奮闘します。

今後ともみなさんと一緒に運動をすすめ、全力をつくすことを申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

2024 年 10 月 27 日

日本共産党 厚生労働部会長

衆議院議員 宮本 徹

メッセージ

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会

会長 大澤 麻美 様

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会 第62回全国大会「臓病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」の開催を心よりお祝い申し上げます。

心疾患の子どもたちは、成長していく過程で、様々な困難を抱えながら、困難に負けないよう社会での自立を目指して頑張っています。患者とその家族が充実した社会生活を送れるよう、医療的ケア児の支援と障がい者雇用促進のために連携していくことが必要です。

本大会を通じて、将来に対して不安を抱えている患者やご家族の悩みが共有され、希望の持てる社会へとつながっていくいい機会となりますことをご期待申し上げます。

結びに、大澤会長をはじめとする「全国心臓病の子どもを守る会」の皆様のご健勝を祈念して、全国大会に寄せるメッセージとさせていただきます。

2024年10月27日



衆議院議員 西村ちなみ
(新潟1区)

全国心臓病の子どもを守る会 会長 大澤麻美 様

「第六十二回全国大会」のご開催まことにおめでとう
ございます。

先天性心疾患を抱えながら成長し、成人して就労な
ど社会生活を営もうとする若い世代が、雇用主や行政
からどのような支援、配慮を望んでいるのか、ぜひ闊達
なご議論をいただき、私たち国会にご提言いただきたい
と思います。

引続き、難病患者とご家族の皆様のご期待に添うべく、
精一杯取り組んでまいりますので、なにとぞご指導のほ
どよろしくお願い申し上げます。

令和六年 十月 吉日

立憲民主党 衆議院議員

神奈川県第四区(鎌倉・逗子・葉山・横浜市栄区)



早稲田 ゆき

第 62 回全国大会のご盛會を心からお慶び申し上げます。

みなさんのご尽力により、難病や障害をめぐる施策も進んでまいりましたが、心臓病をはじめとした内部障害についての理解、医療的ケアが必要な子どもたちへの配慮についてはまだ十分とはいえない状況にあります。障害や病気に関係なく、あらゆる人が社会に参加できるためにも、医療体制を含めた子どもたちの将来を見据えた環境整備が急がれます。

心臓病のみなさんが働きやすい環境は、すべての人にとって働きやすい環境でもあります。この世に生まれたすべての子どもたちが安心して未来へと羽ばたけるよう、私も国政の場でさらに努力を継続しますこととお誓い申し上げます。

末尾ながら、貴会ますますのご発展とみなさまのご活躍をお祈りいたします。

衆議院議員 大西健介

一般社団法人

全国心臓病の子どもを守る会 御中

第62回全国大会メッセージ

メッセージ

この度は第62回全国大会を「臓病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」をテーマに開催されると伺いました。病をかかえながらも、仕事をしたい！健康的な日常生活を送りたいという事は切なる願いだと思います。今はまだ、困難な道のりと思うこともあるでしょうが、ホンネの語り合いの中から、課題を見つけ、解決への知恵を結集していくことが、大きく現実を動かしていく一歩だと信じます。フランスの哲学者アンリ・ベルクソンの言葉に「問題は正しく提起された時、それ自体が解決である」とあります。今日の集いから、皆様の思いが形になりますよう、私も力の限り応援して参ります。

衆議院議員 福重隆浩



社会福祉法人はばたき福祉事業団
HABATAKI
Welfare Project
Shin-Ogawamachi buildings 5F,9-20,Shin-Ogawamachi,
Shinjyuku-ku,Tokyo-To,〒162-0814
TEL.03-5228-1200 FAX 03-5227-7126
URL:<http://www.habatakifukushi.jp/> E-mail:info@habataki.gr.jp

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会
会長 大澤 麻美 様

社会福祉法人はばたき福祉事業団
理事長 武田 飛呂城

第 62 回全国大会へのメッセージ

第 62 回全国大会の開催にあたり、長年にわたって、心臓病をもって生まれた子どもやご家族のために活動을続けてこられた貴会の皆さまに、心より敬意を表します。

先天性心疾患をもち、幼少期から療養を続けている皆さまは、病状の変化によってたびたび学校を休む必要があり、教育面でも大きな障壁に直面しています。また、成人期以降も継続的な医療が必要であり、就労においては二重、三重の苦労があることと推察します。

今回、貴会が「心臓病だけど働きたい！ 仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」とテーマを掲げ、全国大会を開催されることは、こうした就労に悩む先天性心疾患の方やそのご家族にとって、非常に心強く感じられることと思います。また、こうした就労に関する課題は、先天性心疾患の人だけでなく、先天性の様々な疾患をもつ人たちに共通することであり、貴会の取り組みは広く社会の課題解決に繋がっていくことと考えています。

病気をもつ人やその家族が生きやすい社会を目指し、今後も共に活動をしていきたいと思います。

貴会のますますのご発展と、今大会のご盛会をお祈り申し上げます。

令和 6 年10月27 日

一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会
会長 大澤 麻美 様

一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会
代表理事 吉川 祐一



第62回全国大会に向けて

第62回全国大会が開催されましたこと、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

貴会が長年に亘り、心臓病の子どもたちの幸せを願い、患者及び家族に交流の場を提供し、療養生活の質の向上に関する情報を発信してこられ、医療および福祉の環境改善を促進するための熱心な活動を展開されてきたことに、心から敬意を表するとともに、日本の患者運動の中心的役割を果たして頂いていることに心から感謝を申し上げます。

さて、今年のテーマ「難病だけど働きたい！仕事と健康、両立の秘訣～企業と産業医とわたしのホンネ」はまさに時宜を得たテーマであると思います。医療の進歩や療養環境の改善に伴って、体調を維持しながら社会参加できる機会が広がってまいりました。病気を持った子どもたちがワクワク、生き活きと活躍できる社会の実現を目指して、関係者が手をつないでいく取り組みがこれからますます必要とされています。この総会は大きな前進の一步となることを期待しております。

JPA は今後も、心臓疾患児者やご家族が安心して生活できるように、皆様と共に歩み続けます。第62回全国大会のご盛会と貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

20241015

がんの子どもを守る会 丹野

メッセージ本文

この度の一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第 62 回全国大会の開催
誠におめでとうございます

みなさまの着実に幅広いこれまでの活動実績に敬意を表します

今回のテーマである“仕事と健康”については、成人期を迎える患者・経験者等
患者のみならず親にとっても重要なテーマです

本日の皆様の大会が実りあるものになることを祈念しております
病気を抱える子どもやご家族のための活動をともに続けてまいりましょう

公益財団法人 がんの子どもを守る会

理事長 山下公輔

全国大会の開催によせて

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会第62回全国大会の開催を心からお祝い申し上げます。

日頃から、貴会におかれまして日々、社会への働きかけに取り組まれていることに強く関心を抱いています。また、先の新型コロナ感染症下でのコミュニケーションがとりにくい時期を、大変な思いで過ごされていらしたとお察しします。

障がいの違いこそあれ、私たちは、子どもを真ん中に教育の現場で、また、医療や福祉の関係者の方々との三人四脚で手を取り合い、我が子の成長に一喜一憂してきました。社会に出て、自らのくらしをしっかりと築いていける子どもたちであることは、親としての一番の願いです。今回のテーマ「心臓病だけど働きたい！」にも、そんな親の想いも強く感じています。

今後ともこの関係をしっかり保ち、そのマインドをお互いに心の底に持ち続けること、そして多くの方々の理解と信頼をいただくことが、子どもたちの未来につながっていくことだと信じています。

本会は、全国病弱・障害児の教育推進連盟の一員としても、今後とも、貴会とともに障がいがある子どもたちの今と将来を考え行動する、良きパートナーでありたいと願っています。

本日の大会を迎えられ、日々の皆さんの研鑽と啓発への努力が、社会の大きな理解を進めて行かれることに拍手を惜しみません。

2024年10月27日

特定非営利活動法人全国ことばを育む会

理事長 今岡 克己